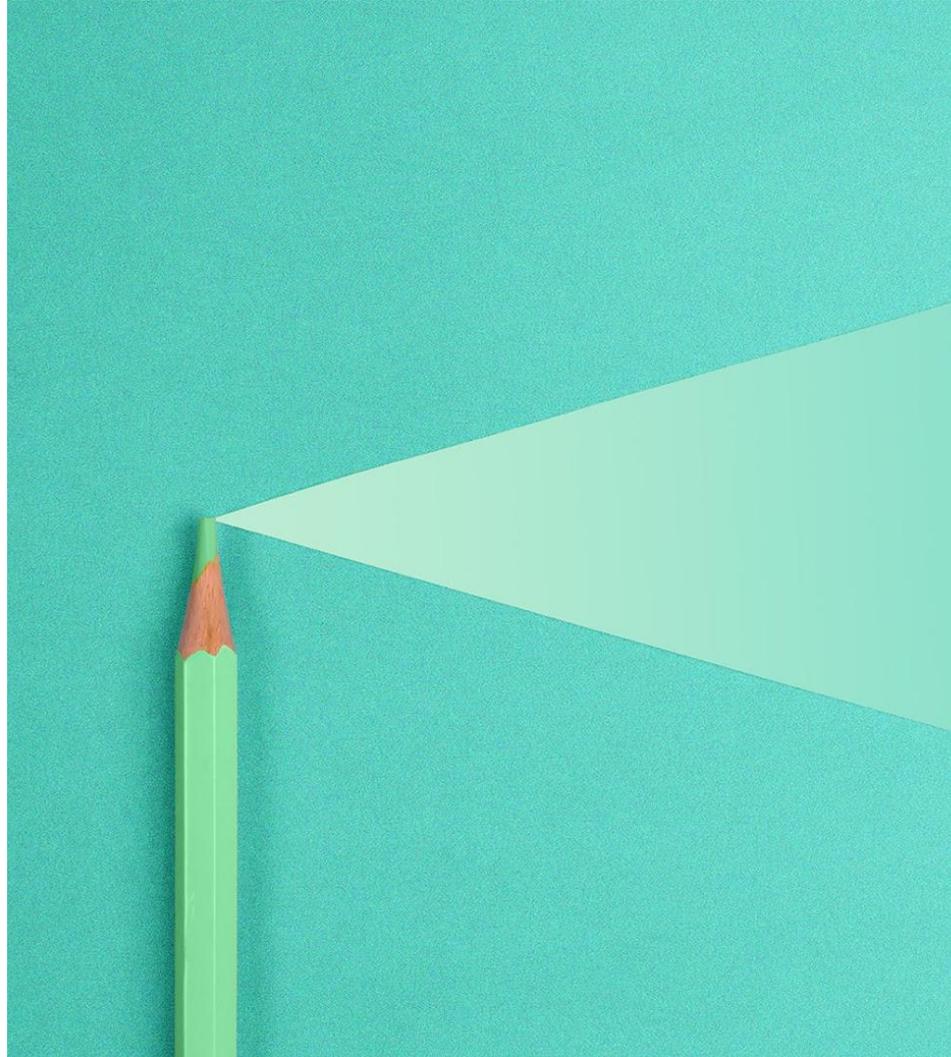


チームみらい 政策マニフェスト テーマ別解説版 子育て編



本資料はチームみらいのマニフェストを政策テーマごとにまとめたものです。概要をまとめた「要約版」、マニフェスト全体をご覧いただける「詳細版」もございますので、ぜひ合わせてご覧ください。

要約版



<https://speakerdeck.com/teammirai/timimiraimanihuesuto-yao-yue-ban-v0-dot-2>

20ページほどのスライドでマニフェストの概要
をご覧いただけるものです

【要約版】



詳細版



<https://policy.team-mir.ai/>

AIに質問をしたり、AIとおしゃべりをしながら
内容提案をしたりすることが可能です

【詳細版】



マニフェスト テーマ別解説版

チームみらいの政策の柱

1. 新産業育成による**所得倍増**
2. 日本を世界一の「**子育て先進国**」へ
3. **いびつな税・社会保障制度を未来志向で再構築**
4. 立法の「**見える化**」
5. 「**政治とカネ**」問題に**終止符を打つ**
6. **誰も取りこぼさない社会福祉へ**

チームみらいのマニフェストを構成する政策テーマ

政治と行政

デジタル民主主義

暮らしと行政

経済財政

生活と社会保障

教育

本資料

子育て

医療

福祉

技術と産業

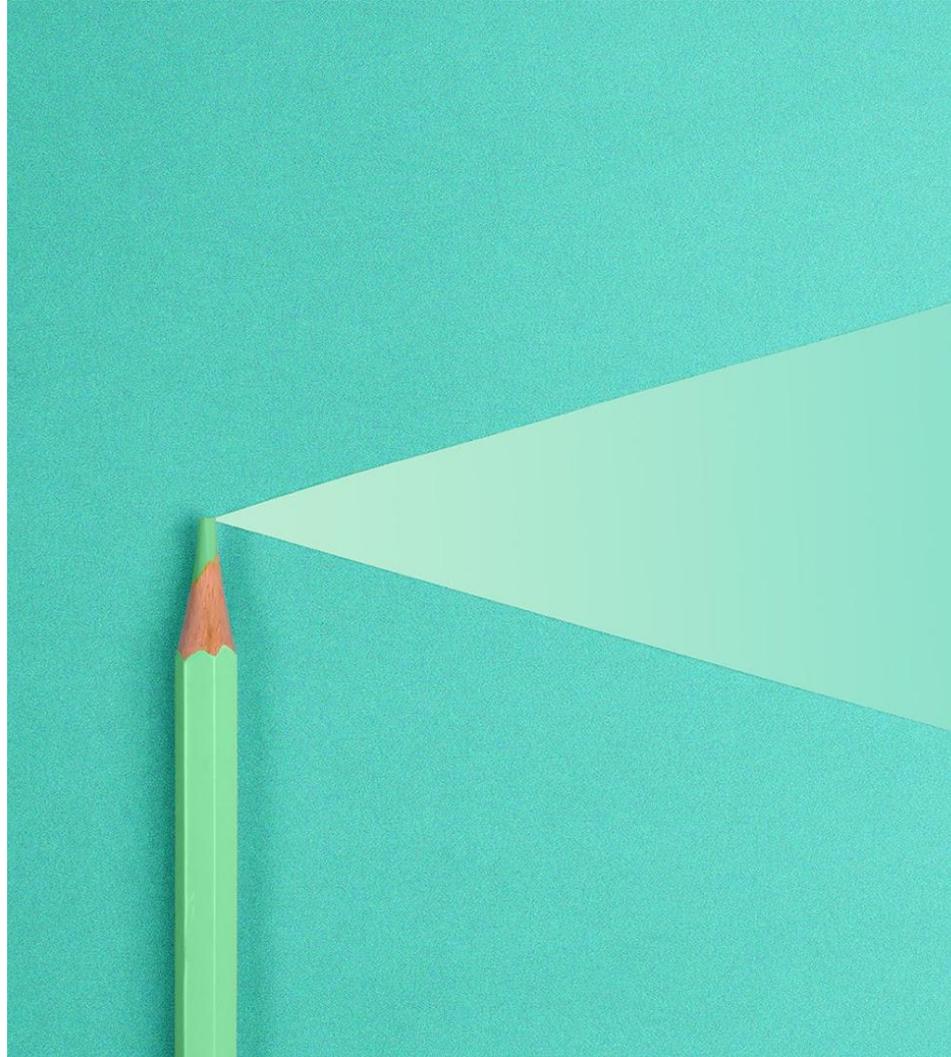
科学技術

産業

エネルギー

政策テーマ

子育て



チームみらいはテクノロジーの力も借りながら、子育て世帯を徹底的に支援します

現状課題

- 出生数は減少を続け、2024年には初めて70万人を下回った
- 日本が「子どもを生き育てやすい国」だと思う人の割合も他国より低い
- 背景には、出産・子育ての経済的な負担や仕事との両立に対する不安がある

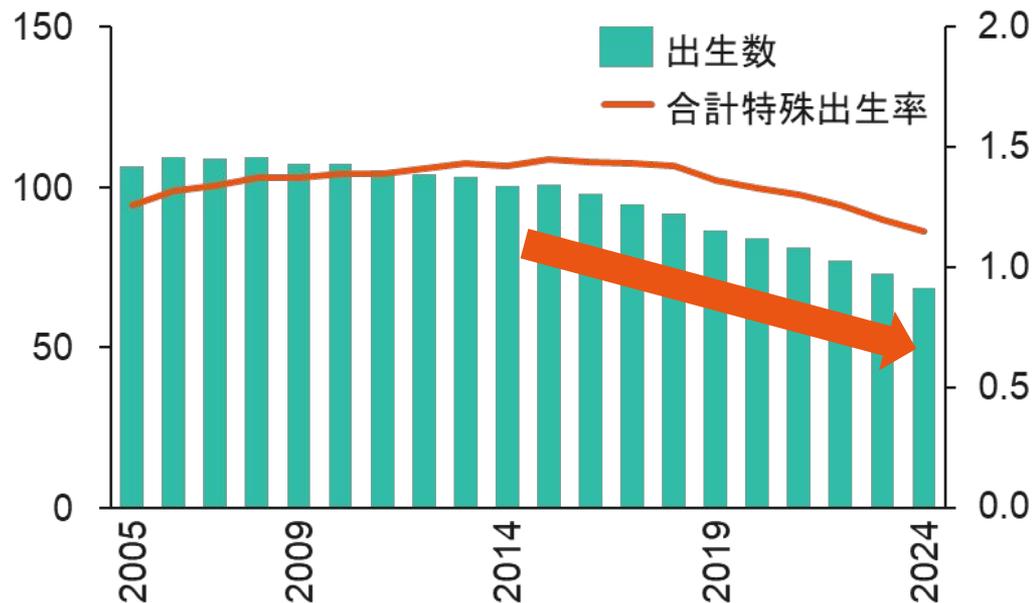
チームみらいは

- テクノロジーの力で保護者が直面する不安や負担を軽減します
- 「子育て減税」の導入を始めとして、子育て世帯を徹底的に支援します
- 子どもの貧困などの課題解決のため、育児のセーフティネットを強化します

日本の出生数は低下を続けており、2024年は70万人を下回った

出生数は減少傾向が続く

(出生数、万)

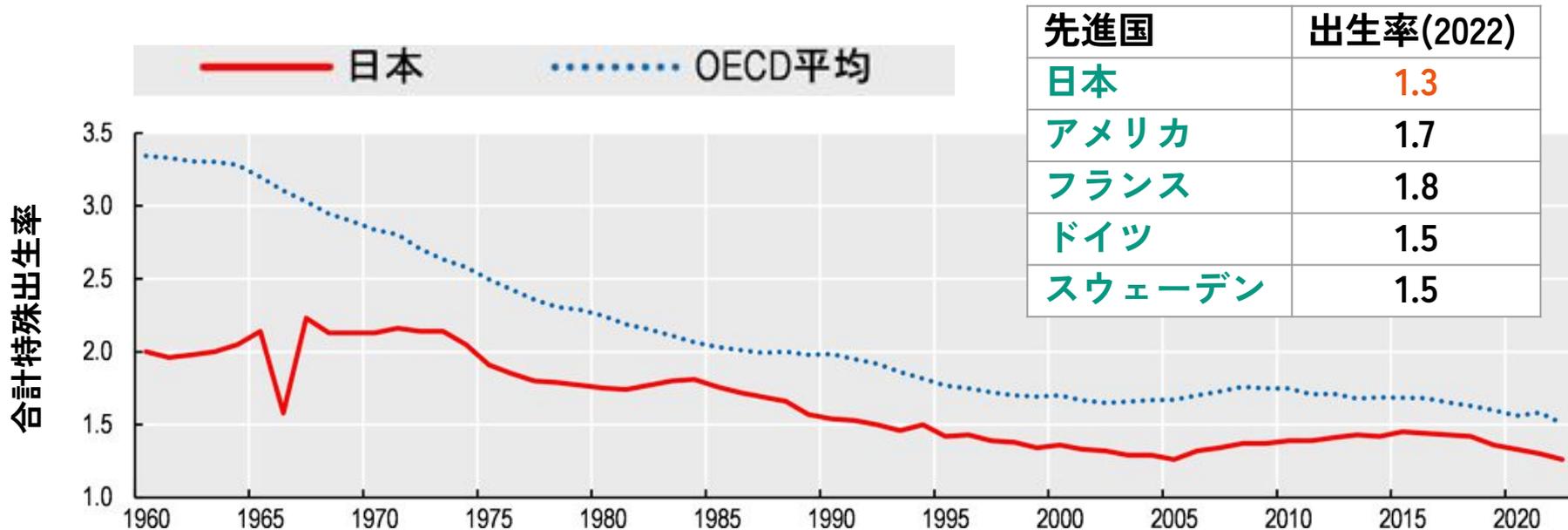


2024年は出生数、出生率ともに過去最低

出生数
68万6061
人

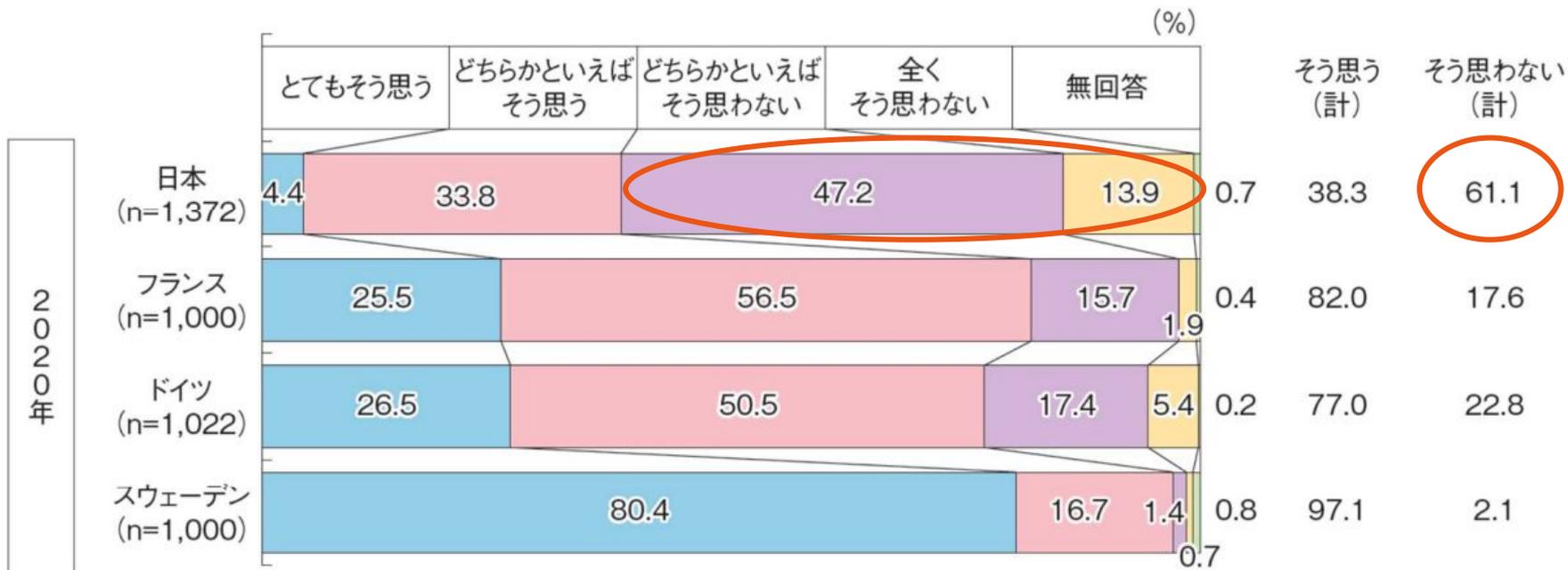
合計特殊
出生率
1.15

少子化傾向にある先進国の中でも日本の出生率は低い水準



「子どもを生き育てやすい国」と思う割合も低い

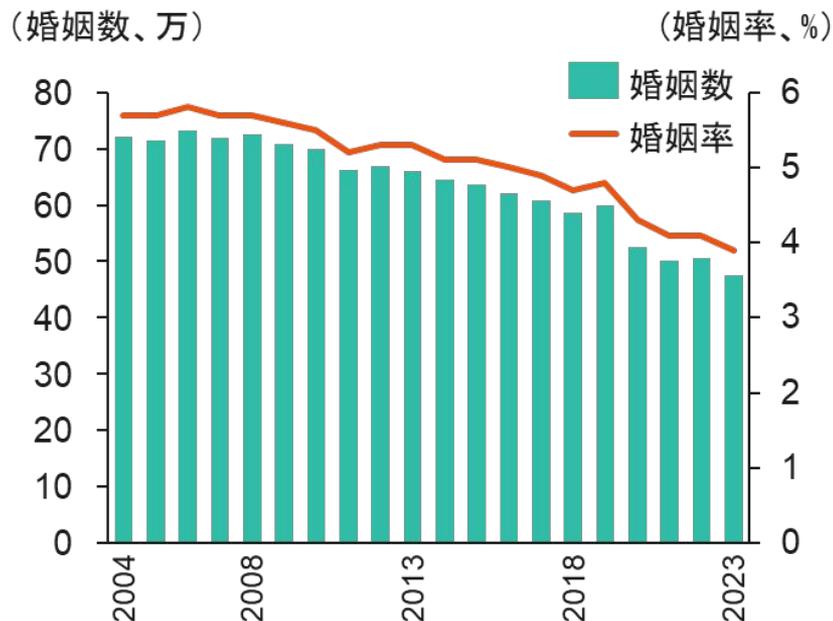
「自分の国が子どもを生き育てやすい国だと思うか」に対する回答



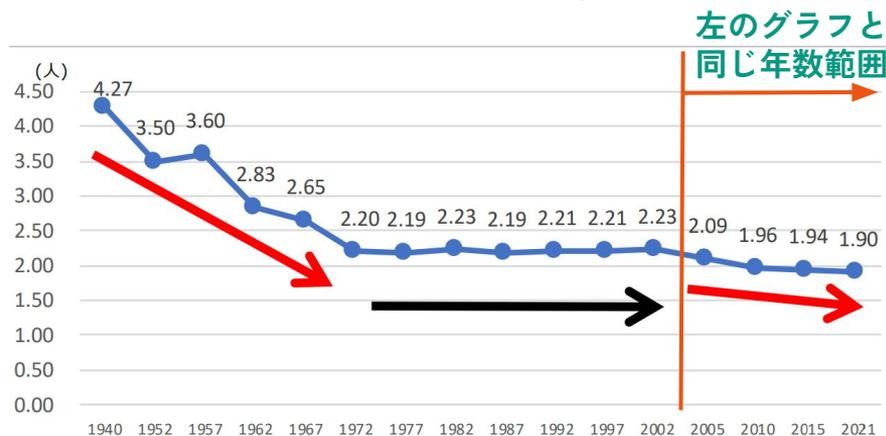
少子化の要因は①結婚する人の減少と②結婚した人の出生数の低下

婚姻数・婚姻率は低下が続き...

...結婚した夫婦が生む子どもの数も減少傾向



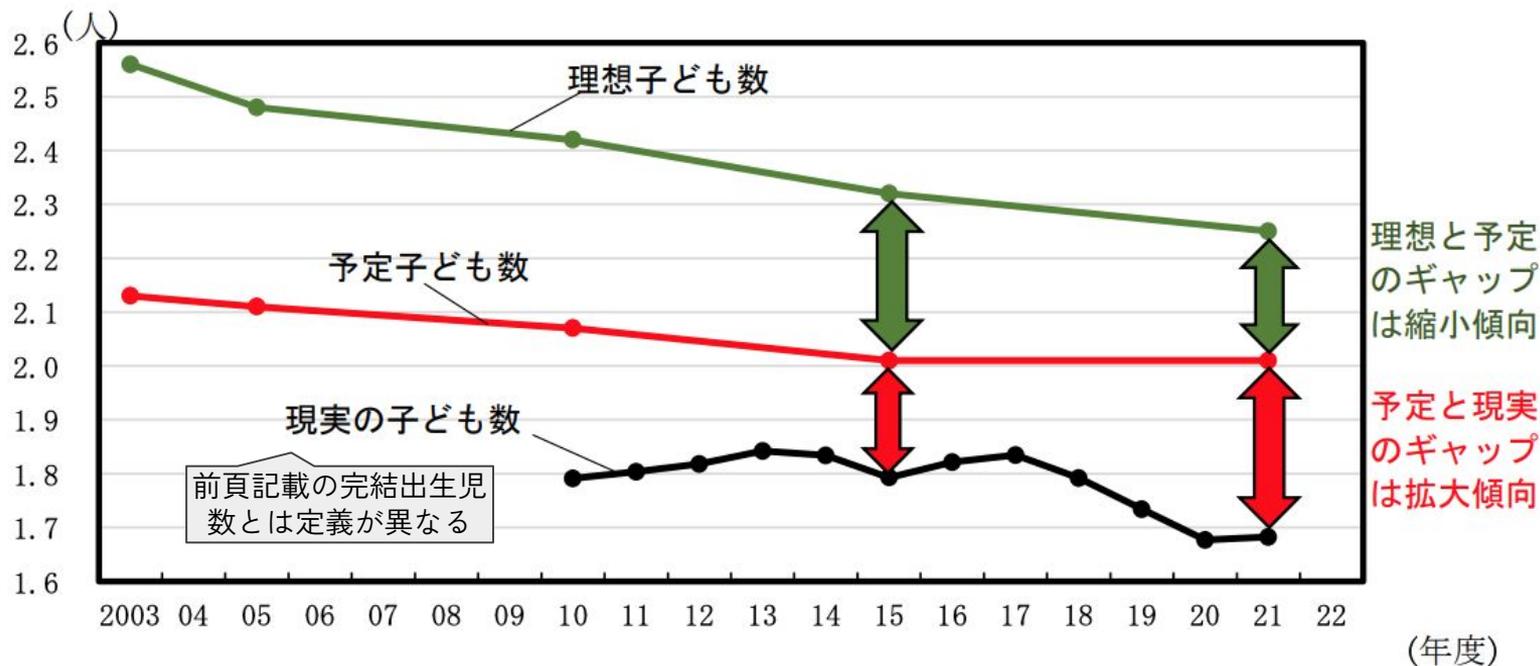
夫婦の完結出生児数 (1940~2021)



左のグラフと同じ年数範囲

出典：左：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2025年版）より作成；右：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（夫婦調査）（2021年）」（グラフはこども家庭庁「結婚に関する現状と課題について」の資料より抜粋）

結婚した人の出生数の低下の背景には、予定した数の子どもを持っていない現実がある

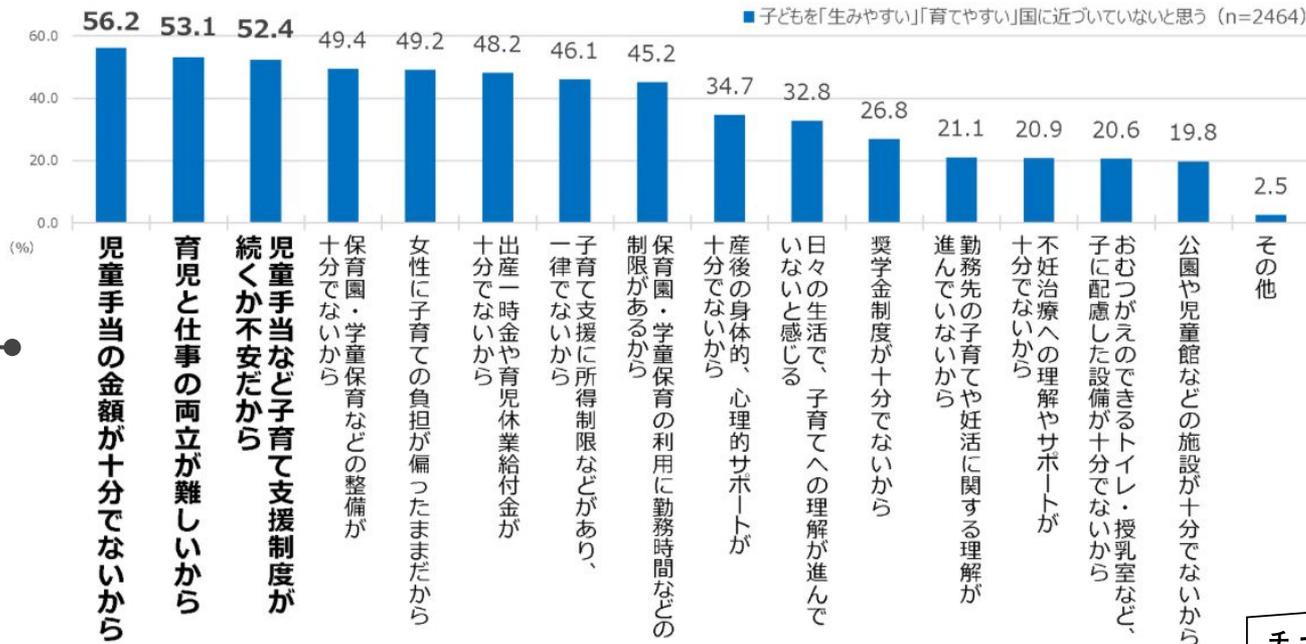


子どもを生み育てることへの壁は、経済的な不安や仕事との両立への不安が特に大きい

「日本は子どもを生み育てやすい国に近づいていないと思う理由」

子どもを生み育てやすい国だと思えない要因の上位は：

1. 児童手当の金額が不十分
2. 育児と仕事の両立が難しい
3. 子育て支援制度が続くか不安



チームみらいは、テクノロジーを活用しながら、「子育て減税」などの大胆な投資や制度の整備で子育てを徹底的に支えます

テクノロジーの力で保護者の不安や負担を軽減

- デジタル母子パスポート
- AI育児相談ポータル
- 全国版保育マッチングプラットフォーム

子育てのお金と仕組みを徹底支援

- 不妊治療への支援の強化
- 「子育て減税」の導入
- 男女ともに仕事と妊娠・育児を両立可能な制度

セーフティネットを拡充し、誰も取り残さない子育て環境を

- 障害のある子どもに対する包括的な支援
- 子どもの貧困やヤングケアラーへの対策

テクノロジーの力で保護者の不安や負担を軽減します

デジタル母子パスポート

母子手帳をデジタル化し、
全ての情報を1箇所に

紙での手続きの手間を
削減、予防接種の予定や
対象となる公的制度も
プッシュでお知らせ



AI育児相談ポータル

子育て中のあらゆる疑問や
悩みは24時間AIに相談可能

必要に応じて専門家へ情報
が連携され、迅速な介入・
ケアを可能に



全国版保育マッチング プラットフォーム

全国の保育所やベビー
シッターの情報を集約

空き状況をリアルタイムで
可視化し、預け先を簡単に
探せるように



デジタル母子パスポートの導入で手続きなどの負担を大幅に減らし、 「プッシュ型支援」で妊娠から子育てを切れ目なくサポートします

現状は...



つわりで立っているのも辛いのに、名前や住所を何度も紙に書いて提出...

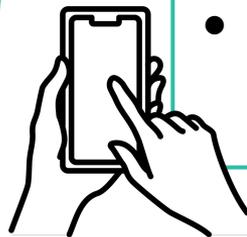
予防接種、次はいつ何を受けるんだっけ...



●ヶ月健診で言われたこと、どこに相談すればいいの...

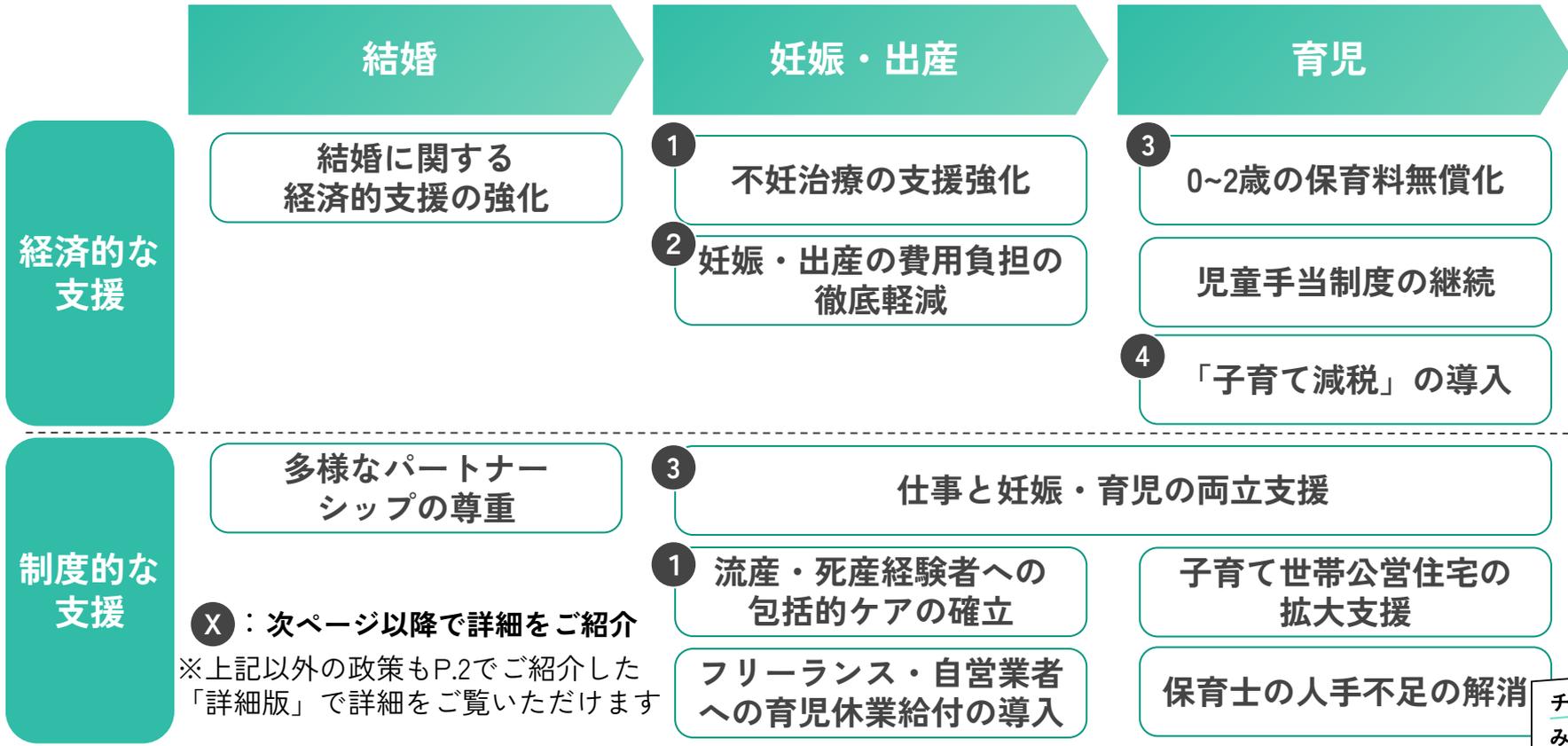
デジタル母子パスポートがあれば...

- 妊娠中・産後の疲れた体で紙を書く手続きを不要に。妊娠経過に合わせ、妊婦健診の受診券枚数も自動で最適化
- 予防接種は適切な時期にプッシュ通知
- 健診での所見やお薬情報も一元管理することで、利用可能な制度/施設を自動お知らせします



※希望者には従来の紙の母子手帳も引き続き提供し、
選択できるようにします

チームみらいは包括的な子育て支援を推進します



X：次ページ以降で詳細をご紹介します
 ※上記以外の政策もP.2でご紹介した「詳細版」で詳細をご覧ください

チームみらい

子どもを望むすべての人へ専門的サポートを届けます

不妊治療の支援強化

不妊治療への保険適用の回数や補助する金額について、**データに基づく効果検証を行い、支援拡大を含む最適化を検討**。子どもを望むすべての人が、**最大限のサポートを受けられる仕組みへ**

不妊治療に関する研究開発に対し
戦略的に投資を拡大

流産・死産経験者への 包括的ケアの確立

死産や流産を経験した方に対し：

- **カウンセリング等**に対する公費助成や保険適用拡大の検討
- 出産育児一時金や産後休業の対象を**母体の心身の状態に応じて柔軟に決定**できるように

パートナーに対しても：

- 休業制度や心のケアプログラムへの参加支援を企業に奨励

妊娠・出産の負担を徹底的に軽減します

妊婦へのワクチン助成の拡大

胎児への移行免疫※が期待できる
各種ワクチンの公費助成の対象を拡大

例: 三種混合ワクチン(百日咳など)

RSウイルスワクチン

※胎盤を通して母体から胎児に病気への
免疫(守る力)が移行すること



分娩費用の実質自己負担ゼロ化

保険適用+公費助成で分娩費用の実質
自己負担をゼロに

(※2026年度からの出産無償化に向けて現在
政府でも検討中)

これらに加え、様々な手続きを一元的に管理できる
「デジタル母子パスポート」で妊娠・出産を強力にサポートします

子育て：政策詳細_子育て世代に対する経済面・制度面の支援③

仕事と妊娠・育児の両立を追求します

妊娠・出産



男女両方への
産前準備休暇

新たに「産前準備休暇」
制度を定め、妊婦健診・
付き添いなどに活用



正産期を支える
パートナーの
業務調整

従業員から要望があれば、
パートナーの正産期に出張
や残業が入らないように
することを企業に義務づけ

育児



2歳までの
保育料を
無償化

0~2歳の保育料を所得制限を
設けることなく完全無償化

「小1の壁」
の打破

学校：学童保育の受け入れ
体制を強化・充実

企業：子どもがいても働き
やすい柔軟な勤務制度



チーム
みらい

子育て：政策詳細_子育て世代に対する経済面・制度面の支援④

「子育て減税」の導入で子育て世帯の経済的負担の軽減を目指します

子どもの数に応じて夫婦それぞれの所得税を軽減



1人の場合： -5%

例：20%→15%



2人の場合： -10%

例：20%→10%



3人の場合： -20%

例：20%→0%

子育て世帯が

「あと一人産みたい」と思える
規模の支援を目指し、

未来に向けた大胆な投資を行います

「子育て減税」による税収減インパクト
は1年で3.0兆円前後を見込んでいます

※高所得者に対する過度な減税とならないよう、年収が一定水準を超えると減税率が逡減し、減税額が一定で収束するような関数を組み合わせます。働き損となるような、所得制限の「崖」は設けません。

すべての子どもが健やかに成長できる社会に向け、デジタルを活用した制度を作っていきます

現状課題

- 障害児の育児には大きな喜びがある一方、保護者には多大な負担がかかっています
- 支援制度も、情報が届きにくい、手続きが複雑、どこに相談すればよいか分からない、などの課題が残ります
- 加えてヤングケアラーや子どもの貧困、児童虐待など、子どもにまつわる社会課題も深刻化しています

チームみらいは

- 支援サービスや助成金等の情報を集約したプラットフォームを開発し、手続きの負担も減らします
- 経済的負担の抜本的な軽減を図るとともに、レスパイトケアや専門的保育の拡充を進めます
- 児童虐待の検知AIを再構築するなど、問題を早期発見して専門家に連携する仕組みを整えます

育児のセーフティネットを強化し、誰もが安心して暮らせる社会を作っていきます

障害のある子どもと その家族の生活を守る支援

福祉の情報や手続きをまとめて
管理できるプラットフォーム

障害児支援の各種所得制限を撤廃

AIで個々に最適化された学びとケア

レスパイトケア・
専門的保育の拡充

すべての子どもが安心して暮らす ためのセーフティネットの強化

ヤングケアラーの早期発見

子どもの貧困への対策

児童虐待の検知AIの再構築

デジタルの活用で不便をなくし、子育て支援に大胆・適切に投資していきます

ステップ1

デジタル時代の
当たり前をやりきる

- デジタル母子パスポート
- AI育児相談ポータル
- 全国版保育マッチングPF

デジタル活用

ステップ2

変化に対応できる、
しなやかな仕組みづくり

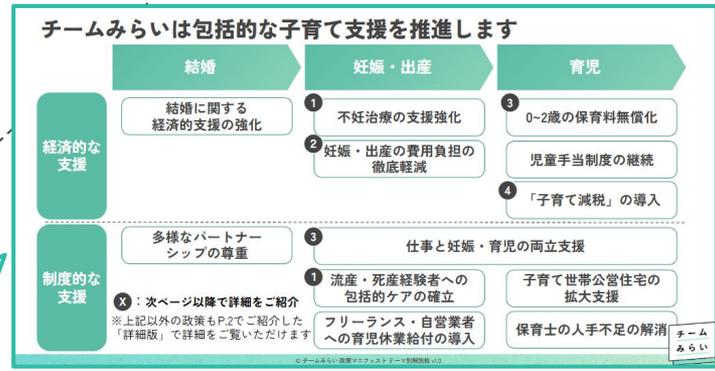
- 結婚～妊娠・出産～子育てまでを包括的に支援
- 子育て減税のような大胆な施策も推進し、「子どもを産み育てたい」と思える国に

子育て支援

ステップ3

長期の成長に
大胆に投資する

セーフティネット



障がい児と家族への支援
子どもの安心・安全の保障

チームみらい

チー ム
みらい

について

テクノロジーで
政治をかえる。
あなたと一緒に
未来をつくる。

チーム
みらい

テクノロジーは、難しい技術のことじゃない。

できなかったことを、できるようにする方法のことだ。

私たちはテクノロジーで、政治の透明化・効率化を実現する。
それは今すぐできる。そしてあなたの生活を着実に改善できる。

政治は、限られた人のものじゃない。

本来、私たち一人ひとりの手の中にあるべきものだ。

私たちはテクノロジーで、政治とあなたの距離を近くする。
もっと気軽に参加できる、もっと参加したいものへ変えていく。

未来は、理想を語るだけじゃ変えられない。

今をひとつずつ改善することでしか、良くできない。

私たちは自分たちの手で、今すぐできることを今すぐ実行する。
あなたと一緒に一歩一歩、未来は明るい信じられる国へ。

新党・チームみらい

テクノロジーで政治と未来を良くすることを目指す新党です

**私たちは、
手を動かす。**

現場視点で建設的なプランを考え、
自らの手で素早く実行します。

**私たちは、
分断を煽らない。**

感情ではなく、データと事実で語ります。
批判より提案を。分断より解決を。

**私たちは、
オープンにする。**

意思決定も、お金の流れも、プロセスも。
透明に、誠実に、信頼とともに歩みます。

**私たちは、
何事も決めつけない。**

正解はひとつじゃない。多様な声に耳を傾け、
より良い答えがあれば、柔軟に改善します。

**私たちは、
誰かをおとしめない。**

他党も政治家も、日本の未来をつくる仲間。
協力できる箇所を探し、一緒に進みます。

チームみらいは、パイの再分配だけでなく、成長を目指します

マニフェストでは、3つのステップで成長を目指す政策を掲げています

ステップ1：
デジタル時代の当たり前をやり切る

デジタルにおける「当たり前」を実行するだけで成果が出る「のびしろ」を発見し、すばやく実行します。

ステップ2：
変化に対応できる、しなやかな仕組みづくり

硬直的な現在の税制、教育、医療制度を、変化に迅速に対応できるしなやかな制度に再構築します。

ステップ3：
長期の成長に、大胆に投資する

前ステップで生み出した余剰資金を子育てや新産業創出、科学技術、文化振興に持続的な投資を実行します。



党首・安野たかひろ

1990年生まれの34歳

AIエンジニア・起業家・SF作家

2024年、東京都知事選に出馬。15万4638票を獲得。
東京都の外郭団体「GovTech東京」アドバイザーとして、自治体などのデジタル化を支援。デジタル庁デジタル法制ワーキンググループ構成員。

東京都生まれ。東京大学工学部システム創成学科卒。在学中、AI研究の第一人者、松尾豊氏の研究室に所属し、機械学習を学ぶ。ボストン・コンサルティング・グループを経て、AIスタートアップ2社を起業。

チームみらいとつながろう



[@anno_teammirai](#)



[@安野貴博](#)



[@team_mirai_jp](#)

ありがとうございました